

## Sunshine 第4回 <問題集>

### Lesson 4-1: 一般動詞の否定文① (I / you / we / they)

一般動詞の否定文は、一般動詞の肯定文を作ることができれば、簡単に作れます。なぜなら、一般動詞の肯定文を作り、一般動詞の前に do not あるいは don't を入れれば完成だからです。

#### 【一般動詞の否定文①：基本の形】

主語 + do not (\*don't) + 一般動詞 (+目的語) (+～) .

\* don't は、do not を短縮した形。

- <例> I do not (don't) like soccer. (私はサッカーが好きではないです)  
You do not (don't) teach them (あなたは彼らを指導しません)  
They do not (don't) live in Japan. (彼らは日本には住んでいません)

#### 【一般動詞の否定文①：作り方】

ステップ1：一般動詞の「肯定文」を作る。

ステップ2：主語と一般動詞の間に do not (または、don't) を入れる。

<例1：私はサッカーが好きではないです>

ステップ1：一般動詞の「肯定文」を作る。

→ 私はサッカーが好きです。

I like soccer.

ステップ2：主語と一般動詞の間に do not (または、don't) を入れる。

I do not (don't) like soccer.

<例2：彼らは日本には住んでいません>

ステップ1：一般動詞の「肯定文」を作る。

→ 彼らは日本に住んでいます。

They live in Japan.

ステップ2：主語と一般動詞の間に do not (または、don't) を入れる。

They do not (don't) live in Japan.

## Lesson 4-2: 一般動詞の疑問文 ① ( I / you / we / they )

ここでは、一般動詞の疑問文について学んでいきます！基本的に一般動詞の肯定文が理解できていれば、何も問題ないと思いますが、ポイントとなるのは、文頭で使われる **Do** という単語。こちらは、「する」という意味ではないので要注意です。

### 【一般動詞の疑問文：基本の形】

I  
\*Do + you + 一般動詞 ( + 目的語 ) ( + ~ ) ?  
we  
they

\*疑問文の先頭にある Do は「する」という意味の do とは違うので注意。

<例> Do you draw pictures? (あなたは絵を描くのですか)  
Do they drink coffee? (彼らはコーヒーを飲むのですか)

### 【一般動詞の疑問文①：作り方】

ステップ1：一般動詞の「肯定文」を作る。

ステップ2：文頭に **Do** を足し、最後を **?** にする。

#### <例1：あなたは絵を描くのですか>

ステップ1：一般動詞の「肯定文」を作る。

→ あなたは絵を描きます。

\_\_\_\_\_ You draw pictures.

ステップ2：文頭に **Do** を足し、最後を **?** にする

\_\_\_\_\_ Do you draw pictures?

#### <例2：彼らはコーヒーを飲むのですか>

ステップ1：一般動詞の「肯定文」を作る。

→ 彼らはコーヒーを飲みます。

\_\_\_\_\_ They drink coffee.

ステップ2：文頭に **Do** を足し、最後を **?** にする

\_\_\_\_\_ Do they drink coffee?

### 【疑問文の答え方】

答え方は、基本的に Yes / No の2種類。Yes. や No. と一言だけでも大丈夫な場合が多いですが、しっかりと答える場合は、以下のように「代名詞」や「do / don't (do not)」を入れる必要があります。

Yes, 代名詞 do.

No, 代名詞 \*don't.

\* don't 使うのが一般的だが、do not と分けることも可。

Do~? で聞かれているので、do で答える。be 動詞で答えないように注意。

Q: Do you like coffee?

A: Yes, I am. =×

### <例 1>

**Do you draw pictures?**

はい → **Yes, \*I do.**

いいえ → **No, \*I don't. / No, I do not.**

\* **Do you ~? (あなたは~?)** という疑問文では、答える時に **I (私は)** を使うので注意。この質問をされている状況を想像するのが大事。

### <例 2>

**Do they drink coffee?**

はい → **Yes, they do.**

いいえ → **No, they don't. / No, they do not.**

### 【ポイント！】

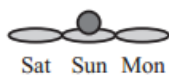
**Do you know ~? は、個人的に面識がある時に使われる言い方なので注意！**

「あなたは大谷翔平選手を知っている？」という日本語文を Do you know Shohei Ohtani? とすると大谷翔平選手と「面識がある(友だちである)」という意味で知っていますか? という意味になります。こういう場合は、Have you heard of Shohei Ohtani? (大谷翔平を聞いたことがありますか?) という表現が使われますので、注意してください！

<参考ウェブサイト> [英語イメージリンク](#) [Hapa Eikaiwa](#)

## Lesson 4-3: 前置詞② (on / with / before / after)

1. **on** = ～ (の上) に / (壁) に (貼ってある) / ～ (曜日・日・週末など) に・は  
 <何かに接している、または乗っているイメージ>



<例> My bags are **on** the desk. (私のカバン (たち) は机の**上**にあります)  
 Our schedules are **on** the wall. (私たちのスケジュールは**壁**にあります)  
 I am busy **on** \*Sundays. (私は、毎週日曜日**は**忙しいです)  
 \*曜日を複数形にすると「毎週○○曜日」「(一般的に)○○曜日」となる。

### 【ポイント！】

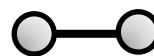
1. 2つの日 (月曜日と水曜日など) をいう場合は「on ○○ and △△」となる

<例> I am busy **on Monday and Wednesday**. (私は月曜日と水曜日は忙しいです)  
 (I am busy on Monday and on Wednesday. = ×)

2. weekend (週末) にも on が使われ、weekends とすると「毎週末」「一般的に週末に」となる

<例> I play soccer **on weekends**. (私は毎週末サッカーをします)

2. **with** = ～と (一緒に) / ～で (道具を用いて) <つながっているイメージ>



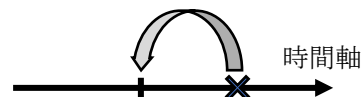
<例>

We eat sushi **with** <sup>1</sup>chopsticks. (私たちは、箸**で**お寿司を食べます) <sup>1</sup>chopsticks = 箸  
 I want to study **with** <sup>2</sup>them. (私は彼ら**と一緒に**勉強したいです) <sup>2</sup>前置詞の後は目的格が使われる。

3. **before** = ～の前に・は <ある時点から前といったイメージ>

<例>

I wash my face **before** breakfast. (私は、朝食の**前**に私の顔を洗います)  
 I study English **before** dinner. (私は、夕食の**前**に英語を勉強します)



4. **after** = ～の後に・は <ある時点から後といったイメージ>

<例>

We do our homework **after** dinner. (私たちは、夕食の**後**に私たちの宿題をします)  
 I have time **after** 7:00. (私は、7:00**以降**は時間があります)



【ポイント！】

**before / after の文章の作り方に注意**

before / after の文章の場合、日本語と順番が入れ替わります。

日本語の順番：私は朝食の前に私の顔を洗います。

英語の順番：私は私の顔を洗います。朝食の前に。

< I wash my face before breakfast. >

日本語の順番：私たちは夕食の後に私たちの宿題をします。

英語の順番：私たちは私たちの宿題をします。夕食の後に。

< We do our homework after dinner. >

そのため、文頭から日本語を英語にすれば文が完成するわけではないので、文の流れをしっかり把握する必要があります。

**Lesson 4-4: 副詞①**

「副詞」とは、動詞や形容詞などを説明する単語で、場所・方法・頻度などを表します。例えば、「今」「明日」「とても」といったものがあります。また2つ以上の単語が繋がった「副詞句」（ここでは「句＝グループ」と思ってもらえればOKです）というものもあります。大きな特徴として、基本的に、

副詞・副詞句の前には「前置詞」は基本的につかない

ということ覚えておく必要があります。そして、副詞と副詞句は、文の後半に使われたり、文の途中で使われたりします（ちなみに、文の最後によく足される「～も」という意味の (,) too も副詞です）。今回は、文の後半に足される副詞・副詞句を3つ学んでいきます。

副詞	意味
very much	とても / 非常に / 本当に
together	一緒に
after school	放課後に

<例> Thank you very much. (本当にありがとうございます)

Let's study English together. (一緒に英語の勉強をしましょう)

【ポイント！】

**「with = ～と一緒に（対象が必要）」 「together = 一緒に」**

似た意味で使われる with と together ですが、with は「～と一緒に」と一緒になる対象が必要なに対し、together はただ「一緒に」という意味を足すだけとなる。

<例> Do you want to play with us? (あなたは、私たちと一緒に遊びたいですか)

<私たちと一緒に遊ぶことがはっきりしている>

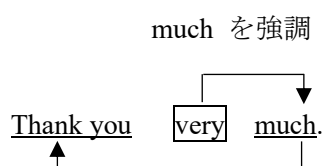
Do you want to play together? (あなたは、一緒に遊びたいですか)

<誰と一緒に遊ぶかは分からない>

### very と much の意味

much と very は、両方とも「とても」という意味がある副詞だが「much = 動詞の程度を説明する副詞」「very = 形容詞・副詞を強調する副詞」という違いがある。例えば、Thank you very much. (本当にありがとう) というのは、以下のように理解することができる。

<例>



thank you の程度を表している (大いにありがとう)

ただし Thank you much. とは基本的に言わず、very much がセットで使われることが多い。

## Lesson 4-5: 副詞② (now / today / tomorrow / every ~)

今回も「副詞」について学んでいきます。ここで学ぶのは「明日」「今」といった時間に関する副詞です。前回同様、大きな特徴として、

副詞・副詞句の前には「前置詞」は基本的につかない

ということを覚えておく必要があります。

副詞	意味
now	今
today	今日
tomorrow	明日
every ~ (every day / every morning など)	毎 ~ (毎日など)

<例>

We are in our classroom **now**. (私たちは、今は私たちの教室にいます)

< We are in our classroom in now. = ✕ >

I study English **every \*Monday**. (私は毎週月曜日に英語を勉強します)

< I study English in every Monday. = ✕ > \*Mondays と複数形にならないので注意。

## Lesson 4-6: Wh 疑問詞② When

ここでは「いつ?」という意味の When について学んでいきます。これは、Wh で始まることから、Wh 疑問詞と呼ばれたりします。When の大きな特徴は、

文頭で使われる

ということ。そして、When の後は、すでに学んだ「be 動詞の疑問文」や「一般動詞の疑問文」の形が入ります。

### 【Where を使った疑問文：基本の形】

When + be 動詞 + 主語 (+ ~) ?

When + do + 主語 + (+ ~) ?

(~は、どこですか) (どこで~ですか)

<例> When are you free? (あなたは、いつ暇なのですか)

When do you run? (あなたは、いつ走るのですか)

### 【Where を使った疑問文の作り方】

ステップ 1: 「いつ」の部分に同じ種類の「適当な単語」を入れて疑問文を作る。

ステップ 2: 入れた「適当な単語」を when に戻す。

ステップ 3: When を文の先頭に持ってくる。

<例：あなたはいつ暇なのですか>

ステップ 1: 「いつ」の部分に同じ種類の「適当な単語」を入れて疑問文を作る。

「いつ」の部分「今」に変える

→ 「あなたは今暇なのですか？」

Are you free now?

ステップ 2: 入れた「適当な単語」を when に戻す。

now → when に戻す。

Are you free when?

ステップ 3: When を文の先頭に持ってくる。

When are you free?